

「逃げるは恥だが役に立つ？」カニの自切 外敵から身を守る生物の適応



カニを扱っていると、かにの脚が他の脚より短かったり形状が変わっていて、脚の再生の跡が見られることがあります。

かにの自切（じせつ） 節足動物・甲殻類（甲殻亜門）であるカニは、外敵から襲われたときや身の危険を感じると自分の脚を切ることがあります。これをかにの「自切（じせつ）」といいます。なぜ自切をするのかというと、トカゲのしっぽ切りと同じで切り落とした脚や尾で外敵の注意を引き、逃げる時間を稼ぐためです。捕食から逃れる可能性を少しでも高めるため、「逃げるのは恥」ではないのです。生存率を上げ、外敵と出会う環境で生きていくための「適応」ですね。

かにソムリエ かにの脚の再生 カニは脱皮を繰り返すことで成長します。この脱皮の際に自切で失った脚を再生させます。と言っても脱皮の回数には上限がありますから、永遠に再生する訳ではありません。最終脱皮をしたカニでは、一度落ちた脚は再生できません。自切やその他の理由で脚を落としたかには「脚落ち」「短足」と水揚げ市場では呼ばれます。（味は変わりません）

自切（じせつ）とは

自切とは、動物が外敵から身を守る為に、足や尾などの体の一部を自ら切り捨てる行動の事。「トカゲのしっぽ切り」などが有名ですよね。

蟹も同様に、自らの危険を感じた時、ハサミや足を自分で切り離して逃げます。これを「蟹の自切」と言います。

カニの自切と再生

カニが自切するときは、断面がとてもキレイな状態で、かつ体液が何も出ていません。これは、切り離す瞬間に瞬膜という膜が出来る為です。

ハサミや足を切り離したカニは、次の脱皮までそのままの状態ですが、切断面は少し盛り上がってきます。

小さなハサミや足が形成され、次の脱皮を待ちます。

そして、脱皮の時、殻を脱ぐと、殻の下にあった、新しいハサミや足がちゃんとついた状態で出てくるのです。

蟹の再生能力って凄いですね！

カニの足は永遠に再生できるの？

沢山の足を失っては生存に問題があるかもしれませんが、1～2本であれば、再生します。しかし、再生のチャンスは脱皮の時しかありません。カニによって、脱皮の回数はある程度決まっているので、最終脱皮をしたカニの足は残念ながら、再生出来ません。